

	<p style="text-align: right;">事前のお知らせ</p> <p style="text-align: center;">夏休みの自由研究におすすめ！ 企画展「虫も食べちゃう植物 牧野富太郎もびっくり！」を開催！</p>
会 期	平成 27 年 7 月 18 日(土)～9 月 23 日(水・祝) 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分 火曜休館(ただし、9 月 22 日(休)は開館、24 日(木)は休館)。
と ころ	練馬区立 牧野記念庭園記念館 (東大泉 6 - 34 - 4 牧野記念庭園内)
<p>練馬区に居を構え「日本の植物学の父」と呼ばれた、世界的な植物学者牧野富太郎博士。その住居跡を整備した区立牧野記念庭園で、「虫も食べちゃう植物 牧野富太郎もびっくり！」と題した企画展を 18 日から開催します(入場無料)。</p> <p>牧野博士は生涯にわたる植物研究の中で、食虫植物にも興味を持ち研究対象としていました。本展では、博士が学名を付けた食虫植物「ムジナモ」を中心に、食虫植物の不思議な生態や、保全活動の取り組みを紹介したパネルを展示します。</p> <p>また、“夏休みこども特集”として、子どもを対象にしたムジナモの展示や、イベントを開催します。</p> <div data-bbox="1066 645 1490 965"></div> <p style="text-align: right;">食虫植物 ムジナモ (写真提供:中野忠男)</p>	

【食虫植物ってどんな植物？】

食虫植物とは昆虫やミジンコなどの小さな動物を捕まえて、栄養とする植物のことです。虫だけを栄養としているのではなく、普通の植物のように光合成も行っています。食虫植物の生えている場所は、湿地や岩壁など栄養の少ない場所が多く、虫を捕まえて足りない栄養を補うことで、生命を維持することができます。

また、虫を確実に捕まえらるよう、変形した葉を使って虫が逃げられないようにする仕組みを持っています。

【牧野博士とムジナモの出会い】

博士がムジナモを発見したのは、1890(明治 23)年 5 月 11 日。小岩村伊与田(現在の東京都江戸川区北小岩)で、植物の採集をしていた時に、池に浮かんでいる見慣れない水草を発見しました。

それが日本で初めて発見された植物であることが後に判明し、博士はその植物にムジナモ(イシモチソウ科)という和名を付けたとされています。

【夏休みこども向け特集】

キットーク&ムジナモの缶バッジづくり (食虫植物についての解説と工作)

日時:7月18日(土)、8月26日(水) 午後2時～2時40分

定員:各20名(先着順) い 申込み:当日会場受け付け

クイズシートで食虫植物について学ぼう!(期間中常設)

ムジナモの展示

日時:7月18日(土)～24日(金)、8月26日(水)～31日(月) 午前9時30分～午後4時30分
(7月18日、8月26日は午後2時から)